

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

※本文内の（ ）内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

### ◎増減が目立った大学

#### □増加数最多は千葉大、減少数最多は横浜国立大

大学全体の志願者数の増減数が 500 人以上だった大学をまとめました。500 人以上増加した大学は 10 大学で前年度より 4 大学増加しました。設置別では、前年度は国立 3 大学、公立 3 大学でしたが、今年度は国立 7 大学、公立 3 大学と国立大の増加が目立ちました。

増加数が最も多かった大学は千葉大で、1,353 人(113)増加しました。前年度のやや減少だったことに加えて、共通テストの平均点が高かったこともあり、後期までしっかりと出願した受験生が多かったことから前年度以上に志願者を集めました。次いで、山口大までが 1,000 人以上の増加でした。前年度前期、後期ともに大幅減少した募集単位が多かった反動で志願者を集めたことが増加要因です。

一方で、500 人以上減少した大学は 17 大学で前年度より 8 大学少なくなりました。設置別では、前年度は国立 18 大学、公立 7 大学でしたが、今年度は国立 14 大学、公立 3 大学となりました。減少数が最も多かった大学は横浜国立大で、3,392 人(55)減少しました。コロナ禍対策として個別試験を実施せず、共通テストの得点のみでの選抜となったことから、個別試験を受験したい受験生が出願を回避したことから全学部で減少しました。以下、島根県立大、弘前大、北海道大、金沢大、公立諏訪東京理科大の上位 6 大学が 1,000 人以上の減少でした。公立大の島根県立大と公立諏訪東京理科大は前年度大幅増加の反動で大幅減少でした。金沢大は後期募集を停止した影響で、前期のみでは大幅増加でした。弘前大、北海道大は、他の地域からの志願者の流入が減少したことが影響したと考えられます。

#### 〔増加数が多かった大学〕

大学	増減数	志願者指数		志願者数		コメント
		2021年度 ／ 2020年度	2020年度 ／ 2019年度	2021 年度	2020 年度	
千葉大	+1,353	113	96	11,565	10,212	前期はやや増加、後期は大幅増加。薬<後>(180)は4年連続減少の反動で激増、法政経<後>(131)は大幅増加で3年連続増加、教育<前>(127)は2年連続減少の反動で大幅増加。
山口大	+1,045	119	78	6,633	5,588	前期は増加、後期は大幅増加。工<後>(192)、工<前>(174)は前年度大幅減少の反動で全学科増加の激増。医(保健)<後>(146)は2年連続減少の反動で大幅増加。
神戸大	+921	110	94	10,236	9,315	前期、後期とも増加。法<後>(147)、文<後>(136)、海事科学から改組で募集人員増加の海洋政策科学<前>(131)、募集人員増加の工<前>(130)、国際人間科学<前>(117)は大幅増加。
三重大	+860	118	96	5,565	4,705	前期、後期とも大幅増加。教育<前>(157)、医<前>(134)、工<前>(120)、生物資源<前>(115)は大幅増加。教育<後>(196)、医<後>(162)は激増、生物資源<後>(116)は大幅増加。
宮崎大	+730	119	76	4,623	3,893	前期、後期とも大幅増加。地域資源創成<前>(176)は2年連続減少の反動で激増、農<前>(175)は前年度大幅減少の反動で激増。農<後>(177)は激増、教育<後>(132)、地域資源創成<後>(121)は大幅増加。
兵庫県立大	+702	112	85	6,502	5,800	前期は増加、後期は大幅増加、中期はやや減少。環境人間<前>(132)、社会情報科学<前>(126)、工<前>(122)は大幅増加。環境人間<後>(569)は前年度減少の反動で激増、国際商経<後>(179)は激増、看護<後>(147)は大幅増加。

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

大学	増減数	志願者指数		志願者数		コメント
		2021年度 ／ 2020年度	2020年度 ／ 2019年度	2021 年度	2020 年度	
茨城大	+652	112	86	6,213	5,561	前期は微減、後期は大幅増加。人文社会科学<前>(115)は前年度大幅減少の反動で全学科増加の大幅増加。理<後>(216)は倍増以上の激増、工<後>(129)、教育<後>(125)、人文社会科学<後>(118)は大幅増加。
県立広島大	+630	142	64	2,122	1,492	前期、後期とも大幅増加。開設2年目の地域創生<前>(140)、生物資源科学<前>(125)は大幅増加。地域創成<後>(354)は3.5倍以上の激増、生物資源科学<後>(139)は大幅増加。
鹿児島大	+563	111	86	5,638	5,075	前期、後期ともに増加。理<前>(144)、工<前>(143)、教育<前>(133)、水産<前>(128)は大幅増加。理<後>(202)は前年度大幅減少の反動で倍増以上の激増、歯<後>(170)は前年度激減の反動で激増、教育<後>(118)は大幅増加。
公立小松大	+554	147	74	1,729	1,175	前期、中期とも大幅増加。生産システム<前>(312)は前年度減少の反動で激増、国際文化交流<前>(130)も前年度減少の反動で大幅増加。生産システム<中>(182)、国際文化交流<中>(138)、保健医療<中>(124)は大幅増加。

### 〔減少数が多かった大学〕

大学	増減数	志願者指数		志願者数		コメント
		2021年度 ／ 2020年度	2020年度 ／ 2019年度	2021 年度	2020 年度	
横浜国立大	-3,392	55	95	4,189	7,581	コロナ禍対策から個別試験の実施を取りやめたため前期、後期ともに大幅減少。理工<前>(50)は半減、都市科学<前>(62)、募集人員減少の教育<前>(71)、募集人員増加の経済<前>(65)は大幅減少。理工<後>(45)、経済<後>(48)、経営<後>(54)などは大幅減少。
島根県立大	-1,795	40	229	1,179	2,974	前期、後期とも大幅減少。人間文化<前>(59)、看護栄養<前>(65)は大幅減少、総合政策から国際関係、地域政策に改組したが、2学部で<前>(20)と激減。人間文化<後>(55)、国際関係、地域政策は2学部で<後>(48)と大幅減少。
弘前大	-1,206	68	92	2,610	3,816	前期、後期とも大幅減少。理工<前>(63)、教育<前>(67)、人文社会科学<前>(68)、医<前>(75)、農学生命科学<前>(78)は大幅減少。募集人員減少の農学生命科学<後>(39)は激減、理工<後>(64)、教育<後>(77)は大幅減少。
北海道大	-1,131	88	94	8,621	9,752	前期はやや減少、後期は大幅減少。後期募集停止で募集人員増加の歯<前>(76)、総合入試文系<前>(81)、医<前>(84)、水産<前>(84)は大幅減少。農<後>(65)、経済<後>(67)、医<後>(74)、獣医<後>(75)、薬<後>(76)、法<後>(81)、工<後>(84)は大幅減少。
金沢大	-1,087	77	94	3,729	4,816	後期募集を停止したため前期は募集人員増加もあり大幅増加。人間社会<前>(118)、理工<前>(116)は大幅増加。新規実施の融合学域<前>は、志願者数141人で志願倍率は3.5倍。
公立諏訪 東京理科大	-1,047	64	210	1,823	2,870	前期は半減、中期とも大幅減少。工<前>(50)は前年度2.5倍以上の激増の反動で半減。工<中>(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
新潟大	-801	87	112	5,173	5,974	前期は減少、後期は教育、創生の募集停止で大幅減少。創生<前>(62)、教育<前>(74)、歯<前>(79)、医<前>(81)、法<前>(85)は大幅減少。農<後>(64)は前年度激増の反動で大幅減少、経済科学<後>(63)、理<後>(77)は大幅減少。
大分大	-795	78	82	2,783	3,578	前期は大幅減少、医(看護)募集停止の後期は減少。医<前>(54)、教育<前>(57)、理工<前>(71)、経済<前>(84)は大幅減少。福祉健康科学<後>(47)、教育<後>(74)、理工<後>(76)は大幅減少。

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

大学	増減数	志願者指数		志願者数		コメント
		2021年度 ／ 2020年度	2020年度 ／ 2019年度	2021 年度	2020 年度	
山陽小野田市立 山口東京理科大	-757	74	123	2,176	2,933	前期、中期とも大幅減少。工<前>(52)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。薬<中>(79)は前年度増加の反動で大幅減少、工<中>(90)は減少。
東京工業大	-664	85	91	3,638	4,302	前期はやや減少、後期は募集停止。環境社会理工<前>(87)、物質理工<前>(91)は減少、理<前>(93)、情報理工<前>(96)、工<前>(97)はやや減少。
福島大	-652	83	103	3,125	3,777	前期は減少、後期は大幅減少。人文社会<前>(82)は大幅減少。人文社会<後>(61)は大幅減少。
福井大	-648	81	101	2,749	3,397	前期、後期とも大幅減少。教育<前>(61)、医<前>(73)は大幅減少。工<後>(72)、医<後>(81)は大幅減少。
東京外国語大	-613	80	91	2,528	3,141	前期は減少、後期は大幅減少。国際日本<前>(55)は大幅減少で2年連続減少、国際社会<前>(89)、言語文化<前>(91)は減少。国際社会<後>(72)は大幅減少で6年連続減少。
島根大	-605	86	125	3,836	4,441	前期は大幅減少、後期は減少。募集人員減少の法文<前>(68)、総合理工<前>(79)は大幅減少。医<後>(54)は大幅減少、募集人員減少の総合理工<後>(70)、生物資源科学<後>(75)も大幅減少。
滋賀大	-548	86	77	3,317	3,865	前期は大幅減少、後期は減少。データサイエンス<前>(85)は2年連続大幅減少、経済<前>(90)は減少で2年連続減少。経済<後>(80)は2年連続大幅減少、データサイエンス<後>(96)はやや減少で2年連続減少。
広島大	-505	92	91	6,111	6,616	前期はやや減少、後期は減少。歯<前>(62)、生物生産<前>(70)は大幅減少。生物生産<後>(33)は激減、歯<後>(46)、法<後>(75)、工<後>(76)、経済<後>(82)は大幅減少。
秋田大	-503	86	95	3,106	3,609	前期は減少、後期は大幅減少。国際資源<前>(66)、医<前>(74)は大幅減少。医<後>(70)、国際資源<後>(75)、理工<後>(83)は大幅減少。